

南九州「人」が摘むぐ対話型 おもてなしプロジェクト

- 地方創生推進交付金 効果検証資料 -

南九州市商工観光課

INDEX

- 1 事業に至る背景
- 2 R06事業実施詳細
- 3 KPI・事業成果

事業に至る背景

南九州市の観光における現状・課題を抽出

現状

観光分野における課題は、既存観光地への周遊・低価格大量輸送モデルへの依存である。南九州市は「知覧特攻平和会館」「知覧武家屋敷庭園群」といった一大観光地を有しており、観光入込客数の内、上記施設で全体の7割を占めるなど大きな比重を占めている。しかし、人口減少局面や価値観の多様化に伴う個人旅行への移行、旅行意識の変化に対応できておらず、観光入込客数は平成23年の約104万人をピークに年々減少傾向にある。



課題

現状のまま「知覧武家屋敷庭園群」や「知覧特攻平和会館」への大型バスによる団体旅行誘致に注力しては、観光客のニーズに対応できず、減少の一途をたどるのではないかと懸念が挙がり、**団体から個人、モノ消費からコト消費といった時代のニーズに応じた旅行商品を早急に開発し提供する必要がある**

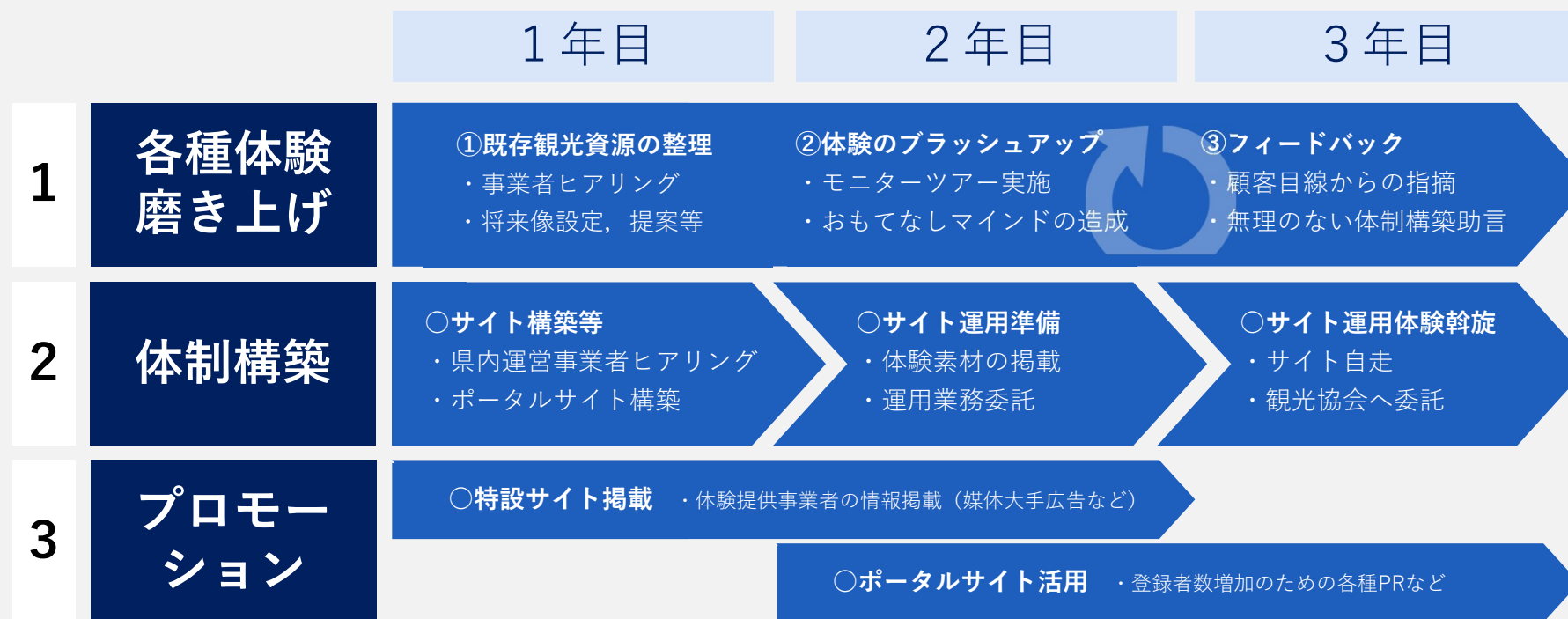


仮説

“地域産品を生かした観光体験”を開発し、“南九州市での体験”を旅行の目的としてもらうことで、観光消費額及び滞在時間増加につながるのでは

事業の概要

3つの柱を中心に，“南九州市での観光体験”による観光消費額及び滞在時間増加を目指す



R06事業実施詳細＜ 1. 体制構築＞

サイトの機能拡張のため、実績のある事業者に委託を行った。

●フロー

事業者選定



業務内容確認



業務委託契約



運用開始

- ・サイトの開発を行ったシフトプラス株式会社に、インバウンド客獲得に向けてサイトの多言語対応を行った。

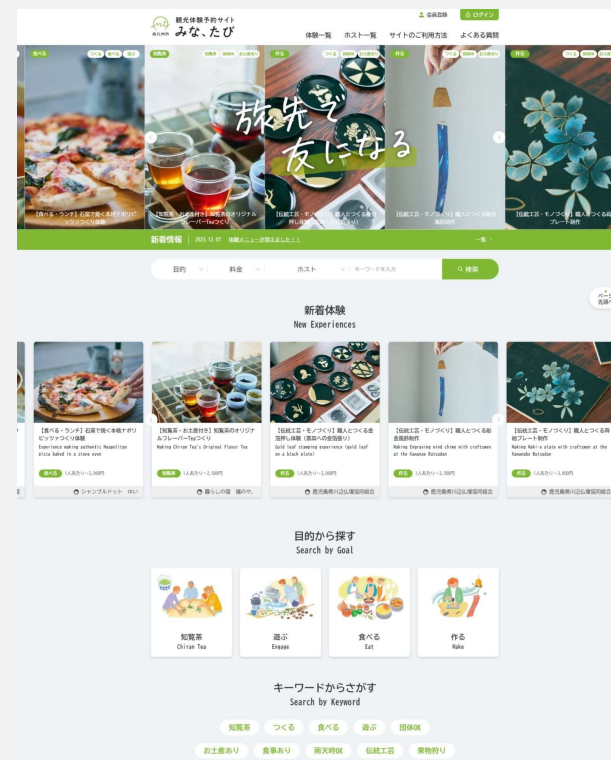
- ・サイトに掲載する画像撮影を委託し、メインビジュアルの強化によるPv数の増加を狙った。

- ・地域住民との交流を付加価値とした体験を提供するため、インタビュー記事をサイトに掲載した。



- ・会員数の増加 会員数274名（R7.3時点）

- ・会員数が昨年度の同じ時期より120人増。海外向けの問い合わせも昨年度より増加している。



R06事業実施詳細＜2. プロモーション＞

東京での観光体験ワークショップを開催し、認知度向上を図る

●フロー

事業者選定



内容確認



ワークショップ開催



評価・検証

●東京駅直結の施設「TOCHI-DOCHI」にて、南九州市ならではの観光体験ワークショップを開催、同会場で1ヶ月間「南九州市特集」として特産品の物販も実施した

1日目：まるわかファーム

「美味しい知覧茶の淹れ方教室とほうじ茶づくり体験」

2日目：知覧武家屋敷コットンファーム

「和綿を使った糸紡ぎ・ミサンガ作り体験」

結果：参加者 1日目14名、2日目10名
総来場者数 3,538名（1か月）



KPI・事業成果

南九州市における体験提供等に関わる指標を示している

KPI	目標値／実数値	事業成果など
体験に伴う消費額	5,400千円／3,800千円 ※暫定（未回答有）	事業経費： 10,154千円（体験ワークショップ委託・サイト掲載画像撮影委託など） 事業成果： ・観光体験予約サイトを通じた各体験のPRや画像等の提供など、登録いただいている事業者への恩恵が大きい事業を実施した。サイトを通じて多くの方に体験していただくことで、滞在時間の延長や観光消費額の増加を図りたい、
“みな、たび”登録メニュー数	12メニュー／25メニュー	
新規体験提供事業者数	3事業者／3事業者	
旅行商品造成数	2件／調査中	

R07年度以降の動きとして：

- ▶ “みな、たび”の認知度向上によるサイト登録者数の増加及び体験メニュー数の充実
- ・ “みな、たび”の活用をベースにした組織体制及び外貨獲得手段の確立